

令和5年度 学校経営計画書

学校番号	20	学校名	静岡県立沼津城北高等学校	校長名	高石 達寿
------	----	-----	--------------	-----	-------

1 スクール・ミッション

校訓「自分を発掘せよ」「自分を偽るな」「あすのために鍛えよ」のもと、沼津市にある普通科高校として、先進的に取り組んできているアクティブ・ラーニング型授業の実践を通して、知識基盤社会を生き抜く「学ぶ力」や「高い志」を持ち、自他の人権を大切にする「人間力」を備えた人材の育成を目指す。

2 目指す学校像

(1) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
～本校では卒業までにこのような力を身に付けます～ (1)個性を磨き、社会に羽ばたく「高い志」を育成するために、自己理解力、探究力、向上心を身に付けます。 (2)知識基盤社会を生き抜く「学ぶ力」を育成するために、課題発見力、計画力、実践力を身に付けます。 (3)自らを鍛え、自他の人権を大切にする「人間力」を育成するために、感情制御力、社会性・公共心、親和・協働力を身に付けます。	～本校ではこのような学びを行います～ (1)個性を磨き、社会に羽ばたく「高い志」を育成するために、総合的受験力の向上やキャリア教育の推進を目指します。 (2)知識基盤社会を生き抜く「学ぶ力」を育成するために、基盤としての読解力やアクティブ・ラーニング型授業の深化を目指します。 (3)自らを鍛え、自他の人権を大切にする「人間力」を育成するために、特別活動の充実や部活動と学習活動の両立の達成及び共生共育の実施による人権意識の涵養を目指します。	～本校ではこのような生徒を求めています～ (1)個性を磨き、社会に羽ばたく「高い志」を育成するために、進路実現に向けて前向きに挑戦する生徒 (2)知識基盤社会を生き抜く「学ぶ力」を育成するために、コツコツと粘り強く学習に励み、学習の楽しさを見出そうとする生徒 (3)自らを鍛え、自他の人権を大切にする「人間力」を育成するために、自分と他者を尊重して、学校生活全般を主体的に取り組む生徒

(2) スクール・ポリシー具現化の柱

<p>ア 「高い志」の育成【自己理解力、探究力、向上心】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Jチャレンジやキャリア教育を通して、自らの将来を主体的に考え、行動する力の育成 ・オンリーワン・ハイスクール事業の推進 ・小論文・面接指導、進学講習、資格検定試験への挑戦等による総合的受験力の向上 ・個別面談の充実と模擬試験等の結果の活用による生徒に寄り添った進路指導体制の構築 <p>イ 「学ぶ力」の育成【課題発見力、計画力、実践力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アクティブ・ラーニング型授業の深化とBYOD活用の推進 ・シラバスの作成と検討や、観点別評価の検証による新学習指導要領への対応 ・学びの基礎診断の活用と家庭学習習慣の確立による基礎学力の定着 ・「学ぶ力」の基盤としての読解力や論理力の育成 <p>ウ 「人間力」の育成【感情制御力、社会性・公共心、親和・協働力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒会活動や学校行事の充実による社会性・公共心、親和・協働力の育成 ・充実感と効率を高める部活動の実践と学習活動との両立の達成 ・規則正しい生活習慣とマナーの確立による感情制御力の育成 ・人権教育や沼津特別支援学校愛鷹分校との共生共育の実施による人権意識の涵養 <p>エ 安心安全な学習環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災教育や安全教育の充実 ・自転車事故の防止やSNSの不適切利用の防止など、命を守る行動の実践 ・治癒率の向上と感染症の予防 ・スクールカウンセラーとの連携や各種診断テストの活用による教育相談体制の充実 <p>オ 地域との連携</p>
--

様式第1号

- ・将来、地域に貢献できる人材となるなど、地域を支える人材の育成
 - ・ボランティア活動を通して地域や社会に対するつながりを意識し、自己有用感を育成
 - ・広報活動による地域への情報発信と防災関係の連携など、地域行事への参加
 - ・地域、PTA、同窓会等外郭団体との連携と学校運営協議会発足に向けた準備
- カ 頼もしい教職員
- ・教職員研修の充実と同僚性の向上及び各教職員の強みを活かした組織運営の促進
 - ・ワークライフバランスの推進
 - ・コンプライアンスの徹底

3 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア 高 い 志 の 育 成	主体的な進路意識の高揚	<ul style="list-style-type: none"> ・自己理解力、探究力、向上心の育成 ・Jチャレンジやキャリア教育の推進 ・オンリーワン・ハイスクール事業の推進 ・生徒に寄り添った個別面談の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会課題の解決に関心のある生徒の割合80%以上 ・2年生10月までの進路希望先決定70%以上、大学・短大希望者は学部学科決定70%以上、3年生1学期までの進路希望先決定90%以上 	進路指導課 教務課 学年部 探究学習検討委員会
	総合的受験力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・小論文・面接指導による総合型選抜や学校推薦型選抜対応 ・外部模試を活用したPDCA ・模擬試験のデータや進路に関する分析や情報の共有 ・英検等の事前指導の充実と継続的指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・全教職員による志望理由書、面接、小論文対策 ・総合型や学校推薦型選抜合格率の向上 ・外部模試の成績向上（下位層の向上） ・英検（準2級以上）合格者の増加と下位層の学力向上 ・各種検定試験受験者の増加 	進路指導課 各教科 全教職員
	変化する入試制度への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・大学入学共通テスト対策の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学入学共通テストに対応した進路指導の展開 ・大学入学共通テストの分析 	進路指導課 各教科
イ 学 ぶ 力 の 育 成	新学習指導要領への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・アクティブ・ラーニング型授業の深化 ・新教育課程のシラバス作成 ・観点別評価の推進と研究 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研修を3回以上実施 ・新学習指導要領の理解の促進と、シラバスの作成と検討及び観点別評価の検証 ・BYOD対応のための教材研究 ・校内外の研修への教員の積極的な参加 	教務課 各教科 授業改善委員会
	基礎学力の定着	<ul style="list-style-type: none"> ・課題発見力、計画力、実践力の育成 ・週末課題等の研究 ・学びの基礎診断の活用促進と指導への反映 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習の中心が自分で必要と判断した学習である生徒の割合35%以上 ・家庭学習時間の平均が週14時間以上 ・自ら進んで授業に取組む生徒の割合65%以上 	教務課 各教科 学年部
	読解力や論理力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科での教科書の読解指導 ・SHR等を利用した諸活動 ・読書活動の充実、図書館だより発行や読書会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・読解力や論理的に話す力を意識した授業展開 ・朝読書の充実と読書量の増加 ・新聞を毎日読む生徒数の割合30%以上 	各教科 学年部 総務保健課
ウ 人 間 力 の 育	生徒会活動や学校行事の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・社会性・公共心、親和・協働力の育成 ・リーダーシップの育成 ・生徒主体の生徒会活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事の事前事後指導の実施 ・生徒会活動や学校行事の運営に主体的に携わる生徒90%以上 	生徒指導課 学年部
	充実感と効率を高める部活動の実践	<ul style="list-style-type: none"> ・各部の活動目標に応じた活動計画の設定と効率の良い運営 ・学習活動との両立の達成 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間計画作成と周知、活動目標の達成 ・満足度90%以上と県大会出場者50人 	生徒指導課 各部活動 教務課

様式第1号

成	規則正しい生活習慣とマナーの確立	<ul style="list-style-type: none"> 感情制御力の育成 挨拶や礼法の指導の徹底 登校指導 服装、頭髪指導の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 全校生徒の自発的挨拶と対応力向上 服装頭髪検査時の違反0人を2/3以上 進路実現に向けたマナー等の確立 	生徒指導課 学年部
	人権意識の涵養	<ul style="list-style-type: none"> 人権教育の実施 共生共育の実施 相談室だより等による啓発 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の人権意識や人権感覚の涵養 配慮が必要な生徒への適切な対応 沼津特別支援学校愛鷹分校との連携 生徒間の対人トラブルへの適切な対応 	総務保健課 生徒指導課 学年部
エ	防災体制と防災教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> 防災意識を高める広報活動 安否確認訓練と避難訓練の年各2回実施と内容の工夫 予告なしの避難訓練実施 	<ul style="list-style-type: none"> 地域防災訓練の参加者70%以上、不参加者の追指導と合わせて100%の参加 安否確認訓練において1回で応答する生徒90%以上 	総務保健課
	安全安心な学習環境	<ul style="list-style-type: none"> 命を守る行動の実践 交通安全教室の実施 SNSの不適切利用の防止 いじめの未然防止 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の感情制御力の向上 交通事故発生件数10件以内 SNSの不適切利用者指導が10人以内 	生徒指導課 いじめ防止等対策委員会
	治癒率の向上と感染症の予防	<ul style="list-style-type: none"> 保健室利用調査に基づいた個別指導の実施 健康診断有所見者の治療促進 保護者への広報活動の充実 感染症予防対策の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 健康診断での心電図、貧血、尿検査の有所見者は100%受診(検査、治療) 歯科・視力の受診率60%以上 生徒、保護者の健康に関する意識向上 	総務保健課
	教育相談体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> 性格診断検査の実施 相談室の有効利用の促進 スクールカウンセラーの活用 教職員間の情報共有と理解 	<ul style="list-style-type: none"> 全生徒の性格診断検査実施と結果共有 困り感のある生徒や問題を抱えた生徒への支援体制の確立と連携の充実 気軽に相談できる環境の確立 	総務保健課 特別支援教育委員会 学年部
オ	地域への貢献	<ul style="list-style-type: none"> 地域を支える人材の育成 ボランティア活動への参加 地域行事への部活動参加 	<ul style="list-style-type: none"> 地域が抱える課題に取り組む生徒の増加 ボランティア活動や地域行事への参加による生徒の社会性・公共心の向上 	総務保健課 生徒指導課 各部活動
	地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ホームページやツイッターの積極的な更新と改善 学校説明会、一日体験入学等の内容の工夫と充実 中学校訪問の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ホームページやツイッターの内容の充実と更新回数増加(閲覧状況の調査) 学校説明会、一日体験入学参加者の理解度や満足度の向上 近隣中学校への積極的訪問と情報発信 	教務課 情報委員会 管理職
	連携	<ul style="list-style-type: none"> 学校運営協議会発足に向けた準備 円滑な学校評議員会からの移行 P T Aや外郭団体との連携 	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年度より学校運営協議会を発足 	管理職
カ	教職員研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> 校内研修の工夫と改善 研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励 	<ul style="list-style-type: none"> 年間3回以上の校内研修の充実と授業改善 校内における教職員同士の学び合いによる研修の充実と同僚性の向上 研修履歴を活用した指導助言の実施 	教務課 授業改善委員会 管理職
	ワーク・ライフバランスの推進	<ul style="list-style-type: none"> 担当部署や各個人における業務効率化の具体策実施 勤務時間の管理方法の徹底 メリハリのある部活動 	<ul style="list-style-type: none"> 全教職員による業務効率化実施100% 時間外業務時間の対前年比5%減少 長期休業中の年休取得日数対前年比増 全部活動の活動目標、年間指導計画作成と効率的な活動の展開 	管理職 全教職員
	コンプライアンスの徹底	<ul style="list-style-type: none"> 不祥事根絶の呼びかけ 根拠法令等の随時確認 交通安全意識の高揚 	<ul style="list-style-type: none"> コンプライアンス研修を年3回実施 体罰、パワハラ、セクハラゼロ 監査、検査等の指摘事項ゼロ 	コンプライアンス委員会 事務室